

第65回

春季東北  
高校野球

第3日

# 県勢2校準決勝へ

第65回春季東北地区高校野球大会は第3日の9日、青森市球場などで準々決勝4試合を行った。弘前東(本誌第2代表)は山形城北北山形第3代表から初回に5点を奪ったほか、四回には齋藤と長谷川の本塁打などで8点を奪い、14-4の五回コールドで準決勝に進んだ。弘前東は初の4連入り、福島商(福島県第2代表)と対戦し、八学光星本県第1代表は、初回に6点を奪うなどの猛攻を見せ、16-1の五回コールドで快勝した。大田第4日の10日は、八学光星東北(宮城県第1代表)、弘前東、聖光学院(福島県第1代表)の準決勝2試合を行う。(本紙取材班)

## きょうの試合

(左のチームが一塁側)

- ▶準決勝
- ◇青森市営球場
- 聖光学院—弘前東(10・0)
- (福島)
- 八学光星—東北(12・30)
- (宮城)

# 光星 試合開始6点

## 福島商を寄せ付けず

回から点を取っていた八学光星は、四回まで相手打線を2安打1失点に抑えていたが、五回に死球、暴投などから3点を献上した。二回からスライダーがアーンに入らず捕手の手前に落ちてしまい、修正

▽準々決勝(県総合運動公園野球場)  
八学光星 0615 122 16  
福島商 000 101 11  
(八) 中村、秋山、鈴木、阿部、大内、桑原  
▽本塁打 長南(八)

▽三塁打 矢野(八)、▽二塁打 近藤、矢野(八)、関根(福)  
▽暴投 中村(八)、大内(八)  
【評】八学光星は初回に打線が爆発。先頭の近藤俊の左前打から4連打で鮮やかに先制。なお無

死満塁で6番矢野が走者みら点を奪うなど攻撃の一掃の適時三塁打を放つなど、打者一巡の猛攻で計6点を挙げた。一回は3番長南がランニング本塁打で1点、三回は四球や失策につけ込

が大爆発した。特に目立ったのが主将長南。二回にランニング本塁打を放つなど4打数4安打3打点と絶好調だった。「積極的に攻める自分たちのスタイルを貫くことができた」と胸を張った。十分すぎるほどの援護をもらった先発中村も、直球と変化球を自在にコースに投げ分け、五回を無失点1失点。「初回の6点で一気に気持ちが悪くなった」と打線に感謝



## 初回狙いすまし初球打ち

## 近藤俊 切り込み隊長

### のイライラ

切り込み隊長の一打が初回のビッグインクを演じた。先頭打者の近藤俊は、初球のまっすぐは狙いをしぼった。予想は的中。甘く入ったボールを送らわずに左前に運ぶと、ベンチは一気に熱

【八学光星—福島商】3回表、八学光星1死二塁、近藤俊が中越えに適時二塁打を放ち、8点を挙げ、捕手・鈴木＝県総合運動公園

八学光星	0	6	1	5	1	2	2	0	1	0	0	0	1	1	
福島商	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
打点	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
安打	4	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
失点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
失球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
盗塁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
犠打	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
犠飛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三塁打	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
四球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
暴投	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
投手	近藤俊	林	藤	山	山	行	興	1	7	回	5	失	2	2	
打者	近藤俊	北	近	佐	伊	作	秋	中	矢	野	1	回	5	失	2
投手	鈴木	阿	部	大	内	桑	原	3	回	0	失	1	2	0	
打者	鈴木	阿	部	大	内	桑	原	3	回	0	失	1	2	0	
投手	鈴木	阿	部	大	内	桑	原	3	回	0	失	1	2	0	
打者	鈴木	阿	部	大	内	桑	原	3	回	0	失	1	2	0	

【福島商】三回表、八学光星1死二塁、近藤俊が中越えに適時二塁打を放ち、8点を挙げ、捕手・鈴木＝県総合運動公園